

### GLHSとは、評価について

■事業目的：豊かな感性と幅広い教養を身に付け社会に貢献する志を持つ、知識を基盤とする  
これからのグローバル社会をリードする人材を育成する（平成22年3月教育委員会会議）

- 育成されるべき力
- ① 幅広い教養と高い専門性
  - ② 高い志（社会貢献）と豊かな人間性
  - ③ 英語運用能力

### ■評価項目

		大項目	小項目
各 学 校 独 自 の 取 組	I	確かな学力の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活用力</li> <li>・ICT活用力</li> <li>・読解カリテラシー、科学的リテラシー</li> <li>・英語運用能力</li> <li>・その他（基礎学力の充実・学習習慣・自学自習の確立…ほか）</li> </ul>
	II	豊かな感性と、たくましく生きるための健康と体力をはくむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・違いを認め共に生きる力</li> <li>・共感性、協調性</li> <li>・健康、体力</li> <li>・その他（人権意識の涵養、自尊感情の育成…ほか）</li> </ul>
	III	高い志をはくむ、進路実現をめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路実現</li> <li>・規範意識</li> <li>・高い志（こころざし）</li> <li>・その他（高大連携の推進…ほか）</li> </ul>
	IV	教員の指導力向上をめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業力向上</li> <li>・教材開発</li> <li>・その他（教員研修の充実、他府県の先進事例の研究…ほか）</li> </ul>
	V	他校・地域へ発信・普及する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GLHS校以外の生徒の資質向上</li> <li>・GLHS校以外の教員の指導力向上</li> </ul>
共 通 の 取 組	VI VII VIII IX	総合的な学力の測定 課題研究活動 英語運用能力 進学実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>★10校共通学力調査結果、大学入学共通テストの参加割合・結果</li> <li>★課題研究活動の成果 ～全国規模のコンクール・コンテスト実績～</li> <li>★英語運用能力の育成 ～TOEFLIBT等外部検定試験の実績～</li> <li>★進学実績 ～大学進学者数等～</li> </ul>

### ■ 評価

- 各校独自の取組の評価（取組評価）
  - ・大項目ごとに2～3の取組を計画。小項目は教育庁が示す項目を参考に設定
  - ・取組指標、取組指標の目標値、成果指標、成果指標の目標値を予め設定
  - 取組実績に基づき、各学校が自己評価（A・B・C 3段階評価）
  - 評価審議会が大項目ごとに実績を評価（AA・A・B・C 4段階評価）
- 共通の取組の評価（実績評価）
  - ・教育委員会が示した小項目に基づき、各校が成果指標を設定
  - 実績に基づき、各学校が自己評価（A・B・C 3段階評価）
  - 評価審議会が大項目ごとに実績を評価（AAA・AA・A・B・C 5段階評価）
- 毎年の総合評価
  - 各校独自の取組の評価（大項目ごとの4段階評価）
  - +
  - 共通の取組の評価（大項目ごとの5段階評価）
  - 総合評価（AAA・AA・A・B・C 5段階評価）

### 評価審議会

#### ●外部評価委員（5名）で構成

- 村上 章 氏  
京都大学 高大接続・入試センター長  
京都大学大学院 総合生存学館長
- 菊地 栄治 氏  
早稲田大学 教育・総合科学学術院教授
- 浅野 良一 氏（令和5年7月12日は欠席）  
兵庫教育大学大学院 学校教育研究科特任教授
- 姫野 勉 氏  
外務省政府代表/特命全権大使（関西担当）
- 杉本 仁美 氏  
株式会社りそな銀行 取締役

#### ☆毎年の評価

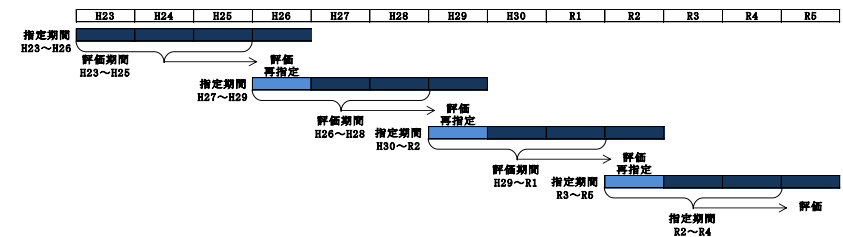
- 評価審議会の開催
- 委員による学校視察
- 委員による校長ヒアリング

・各校独自の取組及び共通の取組を評価 ⇒ 評価結果公表

#### ☆3年間の総合評価

各年の取組評価および実績評価に基づき総合評価  
（AAA・AA・A・B・C 5段階評価）

【参考】 指定のスケジュール（平成23年度～令和5年度）



以後、3年間の評価を踏まえて次の3年間の指定を行う。